

■ (仮称) 動物愛護センター整備基礎調査業務 調査結果の概要【候補地区の比較】

各地区の総合評価から現在の動物管理センター八軒本所のある八軒中央地区が最も(仮称)動物愛護センター設置に望ましいと評価する。
ただし、現敷地での新築や増改築よりも、現施設の周辺の土地が利用できれば、さらに評価を上げることができる。

候補地	1. 八軒中央地区	2. 拓北・あいの里地区	3. 南平岸地区	4. 白石地区
所在地	西区八軒9条東5丁目	北区篠路町福移	豊平区平岸5条15丁目	白石区本郷通3丁目
敷地周辺 (国土地理院 2008年空中写真)				
敷地図				
建 設 法 規 の 対 応 性	(a) 都市計画法、建築基準法等の関連法規	◎ 都市計画区域内 市街化調整区域 容積率 200%/建蔽率 60% 出水のおそれのある区域	◎ 都市計画区域内 市街化区域 第1種中高層住居専用地域 容積率 200%/建蔽率 60% 27m高度地区 宅地造成工事規制区域 ※第1種中高層住居専用地域であることから、以下の点で、施設計画に大きく制限が生じる。 ①犬・猫収容室は、「畜舎」に該当するため、15㎡以下 ②その他は、「動物病院」に該当するため、「サービス業を営む店舗」として取り扱われ、500㎡以下	△ 都市計画区域内 市街化区域 近隣商業地域 容積率 200%/建蔽率 80% 33m高度地区 準防火地域 第三種小売店舗地区 集合型居住誘導区域 1号市街地
	(b) 敷地規模、敷地形状等	○ 2,300.24㎡ 大型車両の乗り入れ口を確保することが難しい敷地形状のため、施設計画に制限が生じる。	◎ 9,907.97㎡	◎ 7,748.23㎡
周 辺 環 境	(a) 静穏を求める周辺施設(住宅・病院等)への影響	△ 東側:旧篠路清掃工場 西側:空き地 南側:あいの里・福移の森緑地 北側:民家	○ 東側:平岸公園 西側:子ども発達支援総合センター 南側:札幌市博物館活動センター 北側:空き地	△ 東側:集合住宅 西側:住宅地 南側:診療所、住宅地 北側:住宅地
	(b) 収容犬の運動場所(1km圏内の公園・緑地)	○ ・八軒ひまわり公園(隣接)	◎ ・あいの里・福移の森緑地(隣接)	○ ・南郷公園(徒歩7分)
	(c) やぶ蚊等の発生源(沼地など)	◎ 新川に隣接している。沼地はなし	◎ 道道128号沿いの歩道脇に側溝あり あいの里・福移の森緑地に池あり	△ 特に無し
市 民 利 用 の 利 便 性	(a) 最寄りの公共交通機関駅、遊歩道等の整備状況 ※バス乗車時間は中央バス時刻表検索システム http://www.bustei.com/ をもとに記載	◎ ①JR八軒駅下車 ②徒歩10分 もしくは ①地下鉄南北線「北24条駅」下車 ②中央バス【北72】又は【西51】乗車、「南新川」下車(4~6分) ③徒歩5分	△ ①地下鉄東豊線「環状通東駅」下車 ②中央バス【東69】乗車、「酪農団地」下車(30~34分) ③徒歩5分 もしくは ①JR学園都市線「あいの里教育大駅」下車 ②中央バス【東69】乗車、「中福移」下車(4分) ③徒歩5分	○ ①地下鉄南北線「南平岸駅」下車 ②徒歩15分(長いきり坂) もしくは ①地下鉄南北線「澄川駅」下車 ②徒歩15分(急な上り坂あり)
	(b) 2車線以上の幹線道路からの距離など・大通駅からの距離	◎ 道道89号札幌環状線(宮の森北24条通)に直結 前面は私道(敷地)、東側道路は一方通行 大通駅から車で4.3km、17分	◎ 道道128号札幌北広島環状線に直結 大通駅から車で17.2km、38分	△ 道道453号西野白石線(白石藻岩通)から700m 西面が道路に接している 大通駅から車で6.2km、18分
機 能 的 利 便 性	◎ 車で30分で到達可能な範囲の全市街地面積に対するカバー率(20km圏内として計算)	◎ 市街化区域 70%	× 市街化区域 70%	◎ 市街化区域 73%
と 関 連 機 関	(a) 負傷動物の搬送に想定される時間 ①札幌夜間動物病院 ②北海道大学 動物医療センター	○ ①16分 ②5分	× ①35分 ②36分	△ ①19分 ②28分
	(b) 火葬する動物の死体を福移支所へ運搬する時間	○ 30分	○ 0分	△ 40分
災 害 安 全 策 性	(a) ハザードマップ(地震、洪水)	◎ 地震 震度6強、浸水深~0.5m未満 	△ 地震 震度6弱、浸水深1.0m以上~2.0m未満 	○ 地震 震度6強、浸水深 なし
	(b) 災害発生時に動物救護拠点として利用可能な土地の有無(テント設置等)	◎ ・八軒ひまわり公園(隣接) 一時避難場所	◎ ・あいの里・福移の森緑地(隣接) 一時避難場所	○ ・札幌市かわ学園のグラウンド(徒歩2分) 避難場所指定なし
参 考	概ね1km 圏内に含まれる世代別人口	総人口 25,115人 年少人口(0~14才) 3,031人 生産年齢人口(15~64才) 15,746人 老年人口(65才~) 6,338人	総人口 217人 年少人口(0~14才) 7人 生産年齢人口(15~64才) 120人 老年人口(65才~) 90人	総人口 40,346人 年少人口(0~14才) 3,995人 生産年齢人口(15~64才) 25,614人 老年人口(65才~) 10,737人
	まちづくりセンターへのヒアリング調査	- ・迷惑施設と思われぬように、音やにおいの対策が重要。	- ・現行福移支所も存在し、機能強化される部分も迷惑施設にはならないので、おそらく問題はない。 ・町内会も酪農団地の住民を中心に構成されているので、動物施設に特に反対はないはず。	- ・道が暗いため、施設ができれば明るいイメージになるかも。 ・町内会連合会には丁寧な説明が必要。
	近隣の地質調査に基づく杭本数・工事費用	- 杭20本 深さ18m(N値50) 20,000千円	- 杭20本 深さ38m(N値50) 35,000千円	- 杭20本 深さ13m(N値30) 18,000千円
総合評価(◎3点、○2点、△1点、×0点)	◎6個、○4個、△2個、×0個 18+8+2=28	28 ◎5個、○1個、△4個、×2個 15+2+4=21	21 ◎3個、○5個、△4個、×0個 9+10+4=23	23 ◎5個、○2個、△3個、×2個 15+4+3=22
評価コメント	・利便性が比較的良く、獣医系大学との距離も近く、連携が取りやすい。 ・敷地面積・敷地形状等や災害安全性について評価が低い。	・敷地周辺の環境が良い。 ・利便性や機動性が極端に悪く、災害安全性の評価も低い。	・災害安全性の評価が他と比較し高い。 ・利便性がやや悪く、また、施設計画に制限が生じる恐れがある。	・利便性が比較的良い。 ・災害安全性の評価が低く、住宅地に囲まれており市民への配慮を必要とする。